

学術集会提出用の学会録（proceedings）の書き方（一般演題用）

（2017年改訂）

9月12日迄に事務局宛（neuro@med.nagoya-u.ac.jp）メール添付で提出ください。
前抄録で対応される場合は、筆頭演者及び共同演者の英語表記を添えてお知らせください。

- 1) 要約は必要ありません。
- 2) 本文の構成は**目的、対象・方法、結果、考察、（結論あるいはまとめ）**の順に1000～1500字以内にまとめてください。
症例報告の場合、**はじめに、症例、考察、（結論あるいはまとめ）**としてください。
- 3) 文献は必要なものに限り6個以内でお願いします。
- 4) 必要な場合、図・表を入れても構いませんが1個以内にまとめてください。
- 5) 原稿には名前の英語表記を入れてください。印刷したオリジナル1部（図表を含む）と、電子媒体のデータを提出ください。
- 6) 電子媒体のデータには作成した機種、ソフトウェア、そのバージョンを必ず記載してください。
- 7) 図・表には必ず表題をつけてください。また、組織標本には染色法と必要に応じて**scale bar**をつけてください。写真は原寸大で印刷出来る大きさで、かつ鮮明なものとしてください。写真は原則白黒でお願いします。
- 8) 図・表などの転載は、その旨を明記し、許諾については著者自身で行ってください。
- 9) 文献は本文に用いられたもののみをあげ、引用番号は本文の引用順とし、本文中の引用箇所には必ず肩番号をつけてください。また、文献には学会抄録は含まず、下記のように記載してください。学会発表の抄録、投稿中の論文などは引用文献に含めないでください。
- 10) 引用文献の著者氏名は、3名以内の場合は全員を書き、4名以上の場合は3名連記の上、以下ほか（邦文文献）、あるいは *et al.*（外国語文献）としてください。
- 11) 原稿は本文、図表、文献を含めて1ページに収めることを原則とします。規定に添わない場合、修正が求められることがあります。掲載は無料ですが、規定ページ数超過分、カラー印刷については所定の額を徴収します。また、希望により学会抄録をそのまま転用することも可能とします。

引用文献例

- 1) Michalsen A, Bock S, Lüdtke R, *et al.* Effects of traditional cupping therapy in patients with carpal tunnel syndrome: a randomized controlled trial. *J Pain* 2009; 10: 601-608.
- 2) Amirjani N, Ashworth NL, Watt M J, *et al.* Corticosteroid iontophoresis to treat carpal tunnel syndrome: a double-blind randomized controlled trial. *Muscle Nerve* 2009; 39: 627-633.
- 3) Leavitt JA, Younge BR. Diseases of the third, fourth, and sixth cranial nerves. In *Peripheral neuropathy*, 4th ed, ed by Dyck PJ, Thomas PK. Vol2, Diseases of cranial nerves, Elsevier Saunders, Philadelphia, 2005, pp1191-1206.
- 4) 平田 仁. 手根管症候群と肘部管症候群 病態, 診断, 治療. *臨床神経* 2007;47:761-765.
- 5) 寺崎久泰, 安東由喜雄. 腫瘍形成性局所アミロイドーシス. アミロイドーシスの基礎と臨床, 池田修一編, 金原出版, 東京, 2005, pp253-257.
- 6) Mucha C, 平澤泰介. 外傷性総腓骨神経不全麻痺に対する電気刺激療法の検討. *Peripheral Nerve 末梢神経* 2009; 20: 7-16.